

2021年3月15日

東京都都市整備局御中

全銀座会 銀座街づくり会議

「東京高速道路（KK線）再生方針（案）」に対する銀座からの要望

銀座は、明治5年の煉瓦街建設以降、時代の最先端をゆく街として繁栄を続けてまいりました。江戸以来の街割はヒューマンスケールで歩きやすい空間をつくりだし、銀座の街並みを楽しみながら歩くことを意味する「銀ぶら」という言葉は、明治末期より定着しています。また、昭和45年より実施されている歩行者天国は、銀座の象徴にもなっています。

全銀座会・銀座街づくり会議は「銀ぶら」を街の特徴として大切にし、歩いて楽しい魅力的な街・銀座の実現のため、努力を続けてまいりました。

このたびの再生方針において、「目指すべき将来像」のなかで掲げられている「広域な歩行者系ネットワークの構築」、「居心地の良い多様な滞留空間として誰もが憩い」、「既存ストックをいかした地域の価値や魅力の向上」に対しては、銀座も大いに賛同しており、東京都様をはじめとするご関係者皆様と銀座が、同じ夢を描いて計画が進められることを願っております。

一方で、これからのKK線のありようとして最も期待されるべき点は、地理的要因や街の性質の違いなどによって分断されていたものごとを繋ぎ、それらの関係性を再構築することであると考えます。物理的には、環境負荷や歴史ある建造物の価値を考慮し、既存施設を生かしながらKK線およびその下部構造物となるべく周囲と街に開かれることです。そして、KK線（屋上）部分に留めず、周囲のグランドレベルおよび構造物を含めて立体的な公共利用が検討されること、さらに、銀座の街の構造、街づくりの方針と整合性を持った適切なアクセスを配置し、地区を超えた回遊性や新しい関係が創出されることを要望します。

社会情勢や人々の消費行動が激変するなか、今後銀座という商業地のあり方も変わっていくことでしょう。銀座が目指す街の姿とこれからの変化は、KK線再整備に対して直接的かつ大きな影響をもたらすことが予想されるため、今の銀座が抱える課題とそれらに対する取り組みを共有したうえで再整備を進めていただくことが不可欠であると考えます。

そこで今の銀座の課題に基づく再整備方針への具体的な提案を以下に述べさせていただきます。「銀座デザインルール」第3版 第2章「銀座が取り組みはじめている未来に向けたデザイン」と併せてご覧ください。どうかご理解のうえ計画を進めていただきますようお願いいたします。

【提案1 銀座らしい街並みをつくる】

・歴史をつなぐという挑戦

銀座は伝統と革新、つまり歴史の積層を感じさせるものと最先端が混在、共存する街です。そのことが銀座の街の魅力を高め、幅広い世代、国々の方に親しまれてきました。既存施設を生かす計画に賛同するとともに、川から自動車専用道路、そして歩行者空間として姿を変えた歴史が感じられたり、誰もが知るができる場所が施設内に創出されることを期待します。再生方針でも「高架施設の特徴（形態）をいかす」に明言されていますが、具体案については地元の見解を取り入れながら計画を進めていただきたいと思います。

・新しい技術を取り込む街並み

銀座はいつの時代も最先端を走り続けてきました。「地域のニーズに対応する交通サービス（次世代モビリティ等）」については、技術はもちろんのこと、デザインにおいても人にやさしく、かつ最先端で、乗ること自体が特別な体験になるようなKK線ならではの乗り物を期待します。

・開発に求められる銀座らしさ

銀座は人がつくる街として、大きな規模の計画であっても人の目線にたってその計画を想像し、銀座街づくりを進めてきました。KK線の再整備は、超高層ビルが高さを競う複数の商業地とビジネス街にまたがる計画であり、目指す街の姿が銀座とは本質的に異なるエリアを繋ぐ開発になると考えます。人のサイズでものごとを考えるとという銀座の基本的な考えをご理解いただき、人が中心の街と街並みの形成にご協力いただきますようお願いいたします。

【提案2 通りと交通をリデザインする】

銀座街づくり会議では、2015年に「銀座モビリティ・デザイン案」を発表しました。この案をもとにした交通計画の検討を東京都都市整備局様に要望しました（2015年8月6日）。

・新しい公共交通システムへの対応

BRT（Bus Rapid Transit）の東京駅・銀座方面への延伸構想ならびに都心部・臨海地域地下鉄構想については再生方針（案）にも記載されています。関係各所と連携し、快適でスムーズな接続を図ること、そして将来を見据えた総合的な計画になるようお願いいたします。

・自転車の扱いと駐輪対策

歩道上の自転車走行や違法駐輪は以前から銀座の大きな課題です。自転車は禁止として歩行者空間とするか、あるいは時間を区切るという方法もあるかもしれませんが、混在しないように歩行者にとって快適な空間を求めます。また、施設へのお客様が周辺に駐輪しないように、かつ周辺の違法駐輪が少しでも減るように、入口付近に駐輪場を設けるなど駐輪対策

をお願いいたします。

・公共空間としての通り

広場の少ない銀座では、通りこそが広場に代わる貴重な公共空間です。KK線が銀座通りや並木通りなどの既存の通りと異なる点として、グランドレベルではないこと、低層部に商業空間を有していること、さらに時代に合わせてその姿と使い方が変化したことが挙げられます。KK線再整備にあたってはこれらの特徴が十分に生かされ、歩く場所、イベントを行う場所に留まらない、これまでの概念を超えた新しい公共空間の創出を期待します。そのためには、地面という2次元の広がりだけではなく、グランドレベルや周辺の建物・施設との関係を意識した立体的な空間形成の検討が必要であると考えます。

【提案3 銀座らしい「なりわい」を発展させる】

・わざわざ来なくなる、個性的な専門店の連なり

街に来る目的は、従来型の消費からより一層多様になっていくと予測しています。そうであれば、商業やビジネス、住居といった用途の境を曖昧にして、多様な人々のそれぞれのライフスタイルを受け入れられる街づくりが銀座にも、そしてKK線にも求められます。KK線には、買い物や飲食などの目的を固定せず人・街・近隣地区同士が新しい関係性を築ける場としての機能も期待します。そのきっかけとなるような新たな活動が起きたり、何かをはじめようとする人の挑戦を受け入れられたりするような場としての可能性も検討していただきたいと考えます。また、そのような多様な空間や店舗の連なりが歩く人たちの体験を発見に満ちたものにするような空間創出を求めています。

・なりわいを支える街中の緑空間

皇居・日比谷公園・浜離宮恩賜庭園をつなぐ緑空間となることに期待します。また銀座には、街中で季節を感じながら、ちょっと一息つけるような空間が必要です。人々が街中で過ごす時間を長くし、街の回遊性を高めるような小休憩できる公共空間の創出を求めています。

【提案4 文化で支える、文化を育む】

・芸術文化の発展と発信

もともと銀座は、新しい文化が生まれ、発信されていく人々の出発の場所でした。社会文化的な価値が経済発展を支える街でありたいと、文化活動へのアクションを続けています。しかしながら社会情勢の変化や地価の高騰により、今の銀座は創造する場所ではなく完成されたものを消費する街になっています。そのため、創造と発信の循環を再構築する場としての機能をKK線再整備に求めています。新しい文化がいつも創出される人々の挑戦の場には、一定期間開放されるような広い空間と交流の機会を生む仕掛けが必要です。銀座は人が夢見る舞台であり、世界に羽ばたく人々を支援し、育てていくことも街の重要な役割と考えています。発表の場とも創造の場ともなるステージ兼スタジオのような設えとともに、新し

い文化創造空間として開かれていて、かつ経済的な負担が少ない制作スペースなどの充実
は、未来の KK 線と銀座の価値創造に大きく寄与すると考えます。これまでの銀座の地道な
活動をぜひご理解いただき、街の文化活動がより一層活発になるような場の創造をお願い
いたします。

・企業文化と環境問題への取り組み

皇居・日比谷公園・浜離宮恩賜庭園の間に位置することからも、生物多様性の実現が期待さ
れます。さまざまな生物が生息できる環境を整備し、そこを通じて大人も子どもも学び合え
る場の創出を求めます。

また、LEED (Leadership in Energy and Environment Design : エネルギーと環境設計にお
けるリーダーシップ) などの総合的な環境性能評価の認証枠組みを念頭に置き、再生方針ど
おりグリーンインフラとしての機能をしっかりと確保し、銀座が目指す持続可能な開発へ
の貢献を具現化する場を実現していくことを要望します。

【提案5 「世界から信頼される銀座」を目指す】

・多様な人々を受け入れ、交流を促す

予測のつかない世の中ではありますが、今後ますます人々の移動は自由でフラットになる
と予想しています。そのため今後はより一層、多様な人々を受け入れられる寛容さが都市に
は求められていると考えます。世界中の人がこの場所に来たいと思う、需要動機となるよう
な楽しみや豊かな文化環境の整備と周辺環境と連携した観光案内機能、そして異文化交流
を促し、相互理解を深める場所となることを期待します。

・ユニバーサルデザイン

誰にとっても過ごしやすく、快適で、いつ来ても自分らしくふるまえる場所になるように、
施設そのものへのアクセス方法はもちろんのこと、施設内も多様な視点から考えつくされ
た計画になるようお願いいたします。

・安全安心な街へ

いつも安全で、安心な街を目指して、環境安全活動には積極的に取り組んできました。どの
ような時間でも危険がなく、かつ、人々の行動を抑制することのない、快適で開かれていて
居心地の良い公共空間となることを望みます。

【提案6 協議型まちづくりの基盤を強化する】

・銀座の街との協議体制の確立

今後の KK 線の再生事業の実施にあたっては、計画・設計から維持・管理・運営にわたって、
継続的に銀座の街と協議しながら進めることを基本とし、そのための場、体制の構築を強く
望みます。銀座の街も、単に要望を一方的に伝えるのではなく、責任をもって主体的に関与

していきたいと考えています。

以上

全銀座会 銀座街づくり会議
東京都中央区銀座 4-6-1 三和ビル 3F